

“選べるブランド” ORB 音質や素材も徹底追求する

ジェーエイアイ(株)
代表取締役社長

竹内 豊氏



小

誌姉妹誌の『季刊・オーディオアクセサリ』では、最新の138号にて、人気のアクセサリブランドORB（オーブ）の総合カタログを付録している。同社の製品は、レコードの反りを直すディスクフラッターをはじめとしたアナログ関連製品から、豊富な高品位セクター群や大人気の静電気除去装置、各種の電源アイテム等々……非常に多岐にわたりバラエティーに富んでいるので、一枚の紙で総覧できる貴重な機会となるはずである。

「ORBは選べる」と言っていた多くのがいちばん嬉しいですね。豊富なラインナップとともに、よそと同じものではなく、ORBらしい音や素材にこだわった製品を、ユーザーのあらゆるニーズに合わせて作っています」と語ってくれたのは、同ブランドの創設者であるジェーエイアイの代表取締役社長・竹内豊氏。自身が大のオーディオファンでもある同氏から生み出される斬新かつ確実な製品開発に今後も目が離せない。

大

学の研究期間や医療機関など業務用に15年前から3Dに携わっている同社。「これほど3Dが盛り上がるとは15年前は思ってもいませんでした」という坂口氏、「各メーカーから様々な3D対応製品が発売されていますが、コンテンツがまだ少なく、なかなか実際の購買につながっていません」と、3Dの現状を指摘する。そうした状況を受けて発表したのが、720Pの3D動画撮影に対応しながらも3万円以下という価格を実現した「3D Sunday Pocket HD camera」だ。

販売チャネルについては直販サイトを中心に行うが、「例えば3Dテレビの販促品としてセット購入ができるなどといったような販売方法も考えられます。そうした方面にも働きかけていきたいですね」ともコメント。様々な展開も視野に入れる同製品が3D市場にどのような影響を与えていくのか。今後の動向にも注目したい。

3万円以下という価格で 3D市場の活性化を狙う

(株)レッツコーポレーション
社長室付 新規事業部 課長

坂口 裕介氏



C/Pに優れた製品を 自社の店舗でアピール

(株)ラステーム・システムズ
代表取締役社長

三上 忠道氏



高

品位再生の新たな手段として注目を集めているPCオーディオ。多くのメーカーが新製品を投入する中、特にコストパフォーマンスに優れた製品を世に送り出しているメーカーがラステームである。代表取締役の三上氏は、自社の製品について「ラステームではデジタル技術に深い知識とノウハウがあるため、PCを使ったデジタル増幅技術やレシーバー技術を搭載した製品開発において、一歩先行く製品作りができています」という。そのこだわりはT1社のチップによるブレのない一貫した製品開発からも伺える。また秋葉原に自社製品の専門店「コムファディオ」を構えており、専門スタッフが比較試聴やPCオーディオに関する相談を日々受け付けている。同店には「コムファディオをPCオーディオの聖地にしたい」と語る同氏の思いが溢れており、これからPCオーディオを始めている人や、さらにグレードアップしたいと考える方に大きな力になってくれることだろう。

ク

リズラボでは、豪州製のDETALX（デックス）というデジタルプロセッサを輸入販売する。システムと部屋の弱点を補正し、理想の特性と音を実現させる新しいオーディオ機器だ。「リアンプ、3ウェイchバイダー、DAC、EQ、スピーカー&ルームアコースティックス補正等の機能を備え、膨大な手間を必要としてきたマルチアンプ方式も簡単に構築できる先進的な民生機です。測定と調整・基本設定時にパソコンを使うため、苦手という方には出前セッティングも実施しています」とのこと。最上級機HDP-3（64万2000円）からリアンプ機能を除き、手持ちのリアンプを生かしたシステム構築ができる姉妹機HDP-Express（42万円）も8月に加わった。導入したマニア達の間でコミュニティができるなど新しく横のつながりを生み、オーディオ趣味の活性化に貢献する点も注目すべき製品だ。

DEQXにプリ機能を 省いた姉妹機が新登場

Kurizz-Labo
代表

栗原信義氏

